

景気動向指数
平成 24 年 4 月分（速報）の概要

4月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：95.1、一致指数：96.5、遅行指数：86.5となった。（注）

先行指数は、前月と比較して1.3ポイント下降し、7ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.17ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.26ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、3ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.76ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.59ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.2ポイント下降し、3ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.97ポイント上昇し、9ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.31ポイント上昇し、24ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

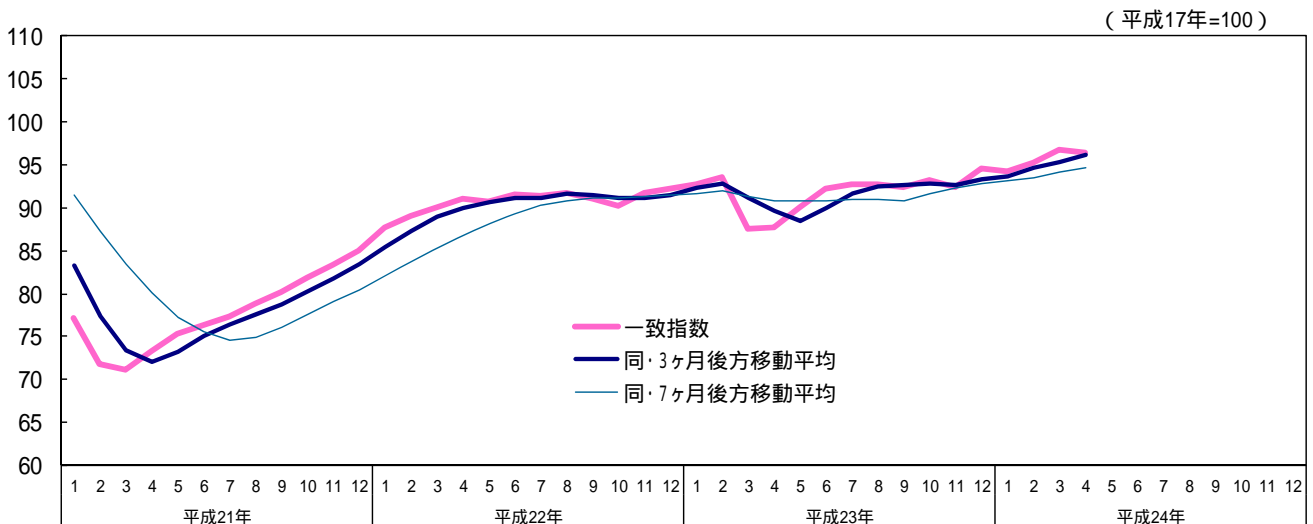
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.35	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.36
C4：耐久消費財出荷指数	0.15	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.22
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.11	C3：大口電力使用量	-0.15
C1：生産指数(鉱工業)	0.02	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.08
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.01	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.02
		C9：営業利益(全産業)	-0.06

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。